

BIG5-JOB

個性評価ツール

(Self Assessment Tool)

SAMPLE

BIG5尺度 (1枚目)

- ▶ 上段の図表は個人の性格を7つの尺度により表現したものです。
- ▶ 下段は職場適応力に関する項目をピックアップしたグラフです。
- ▶ それぞれ、結果をそのまま反映した「自己評価」と回答傾向を考慮し、自己評価に修正を加えた「修正値」の2つで構成されています。

総合評価解説 (2枚目)

- ▶ 総合判定に加え、個人の性格を7つの角度から分析しています。
- ▶ 57の尺度から評価文を作成しています。

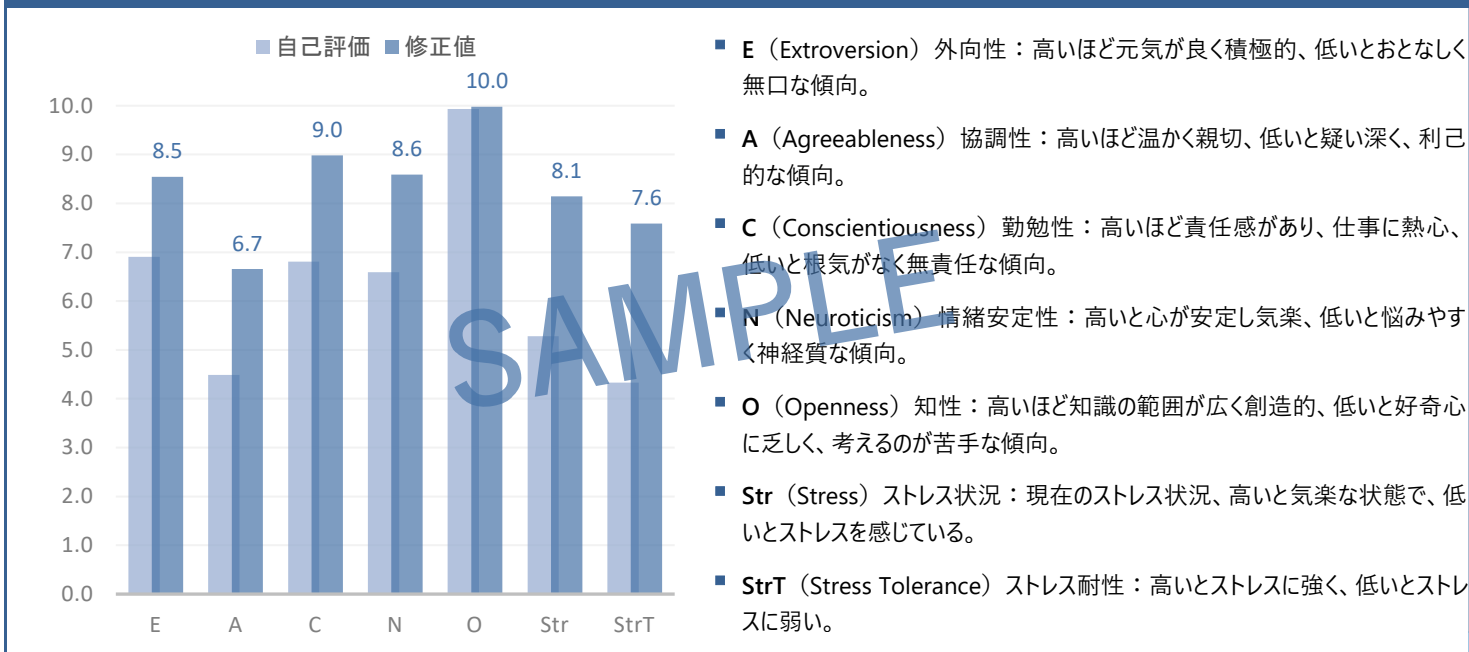
全要素解説 (3枚目)

- ▶ 全ての尺度の得点と評価を一覧表にしています。
- ▶ 得点は、それぞれ100点満点で、50点が平均値となります。つまり50点より低いとその尺度の傾向が弱く、高いと傾向が強いということになります。

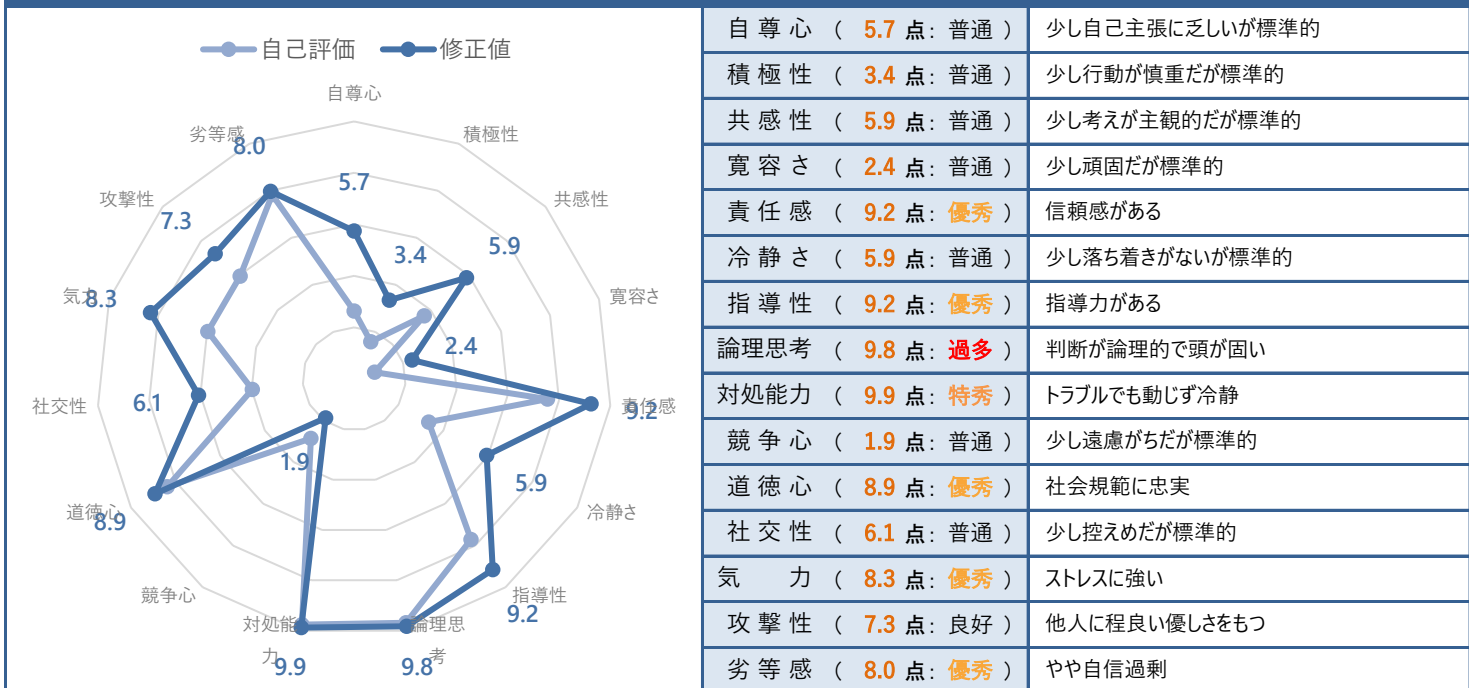
年齢	22歳	性別	男性	氏名	BIG5-BASIC	Mail	big5basic@gmail.com
----	-----	----	----	----	------------	------	---------------------

- ▶ この診断結果は非公開です。結果を通して個人の分析や、人材の育成に役立ててください。
- ▶ 下の「BIG5尺度+ストレス尺度グラフ」と「主要15尺度レーダーチャート」の2つのグラフは、本人の評価をそのまま反映した「自己評価（—）」と、回答傾向を考慮し、統計データに基づいて自己評価に修正を加えた「修正値（—）」の2つのラインで構成されています。自己認知の数値と修正値を比較することで自分に対する評価のギャップを視覚的に把握することができます。
- ▶ 10点満点中5点が平均値となっています。それぞれ平均より高いか低いかで個人の性格傾向を判断して下さい。また「適性ライン」に達していない部分がある場合はそこを伸ばすよう心がけて下さい。
- ▶ 下段の「主要15尺度レーダーチャート」のグラフは、それぞれの得点に応じて「不良」、「不安」、「普通」、「良好」、「優秀」、「過多 or 特秀」の6段階で評価しています。「自尊心」、「積極性」、「共感性」、「論理思考」、「冷静さ」、「責任感」、「積極性」、「自尊心」の高すぎると良くない6尺度に関しては「過多」と表示しています。それぞれの評価文を参考に、個人の分析に役立てて下さい。

BIG5尺度+ストレス尺度グラフ（対象者の性格を7つの尺度により表現しています）



主要15尺度レーダーチャート（職場適応力に関する項目をピックアップしています）



総合評価解説 (自己評価に基づき、7つの評価文によって個人の全体像を捉えます)

主要項目	評 価 文
総合判定	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 全体的な印象は「 考えることを好む、自分に劣等感をもたない人 」です。 ▪ 管理職適応度は「 56 点 (自己評価 37) 」です。(100点満点中) ▪ 営業職適応度は「 83 点 (自己評価 52) 」です。(100点満点中) ▪ 経営者適応度は「 78 点 (自己評価 62) 」です。(100点満点中) ▪ 総合判定の結果は「 91 点 (自己評価 60) 」です。(100点満点中)
検査の信頼性 偏差値「 41 」	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 検査の信頼性は「 B 」です。(S、A～Dまでの5段階評価) <p>この結果は少し不自然な所があります。この検査に対し、少し悲観的に回答した可能性があります。従って、自分を過小評価し、得点が低くなっているかもしれません。自分の欠点を少し認めすぎて回答した可能性があります。少し心理的問題があるように回答した可能性が考えられます。以上のことを考慮し、以下の文章を読んで下さい。</p>
交流力 偏差値「 53 」 (自己評価 46)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 交流力は100点満点中「 57 点 (自己評価 34) 」です。 <p>総合的に、平均的な外向性です。心は外向きで、打たれ強さは標準的で、対人関係は出過ぎることもなく、消極的なこともありません。また、社交性は程良く、人前では適度な対応ができ、社交的な場所では人並みに振る舞うことができます。</p>
調和力 偏差値「 56 」 (自己評価 49)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 調和力は100点満点中「 70 点 (自己評価 46) 」です。 <p>総合的に自分よりやや他人を優先する、協調性がある人と言えるでしょう。人に対する思いやりの気持ちは標準的で、他人に敵意を感じたときは、その敵意が表に出ないように隠します。また、人の気持ちには少し鈍感で、他人に無関心なところがあります。自分の心理的問題や精神的な不安を認めることができ、心に余裕があり、人に対して融通が利く方でしょう。他人には肯定的に接することを心がけているため、人に協力的です。反社会的行動を起こす可能性は極めて低く、法律などの社会的規範を守るように心がけています。</p>
社会適応力 偏差値「 60 」 (自己評価 51)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 社会適応力は100点満点中「 81 点 (自己評価 54) 」です。 <p>総合的に真面目で、社会性のある人と言えるでしょう。勤勉で、良識性が高く、物事に対する判断は、あまり感情に流されることはありません。人の考えに対してはとても寛容で、責任感があり、人から信頼されています。一方、自分に対しては、全く劣等感を感じていません。</p>
精神力 偏差値「 62 」 (自己評価 54)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 精神力は100点満点中「 87 点 (自己評価 65) 」です。 <p>総合的に落ち着いた人と言えるでしょう。心が穏やかで、感情が安定し、のんきで受動的で、攻撃的な感情がわき起こったとしても、それを認めようとしません。また、人に対する不信任は標準的で、不安や緊張はなく、神経質になることはほとんどないでしょう。</p>
創造力 偏差値「 69 」 (自己評価 61)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 創造力は100点満点中「 95 点 (自己評価 87) 」です。 <p>総合的に知的感性がとても高い人と言えるでしょう。物事に対してかなり洗練した考え方をします。議論の場では、我が強く、独創的で、自分の考えに自信を持っています。自分の能力にかなりの自信があり、他人に頼ることはあまり考えません。また、決断力はやや低く自分の知識や経験を人に伝えることに優れ、高い指導力を持っているでしょう。思考方法は現実的で、物事を論理的に考えることが出来ます。</p>
ストレス状況 偏差値「 41 」 (自己評価 49)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ストレス状況は100点満点中「 56 点 (自己評価 53) 」です。 <p>総合的に、現在あまりストレスを感じていないでしょう。楽観的な傾向にあり、不安や心配事はあまりなく、気楽な状態です。緊張は適度であり、深刻な不安感を感じていません。強いストレスを感じている兆候はありません。また、心労の水準は低く、精神的に疲れてはいません。心に問題を抱えている可能性はとても低いでしょう。</p>
ストレス耐性 偏差値「 57 」 (自己評価 48)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ストレス耐性は100点満点中「 73 点 (自己評価 43) 」です。 <p>総合的に、ストレスに強い人と言えるでしょう。問題対処能力に優れ、あらゆる状況下で冷静な判断が出来るでしょう。また、ストレスを受けても不安や緊張に捕らわれにくい。ストレスの原因を冷静に判断し、正面から受けとめようとします。また、精神的に異常な部分はまったくみられません。</p>

詳細項目の得点および評価（自己評価に修正を加え、各尺度を100点満点、6段階で評価しています）

尺度	尺度 解説	素点 → 修正点	評価
Va	見栄を張った傾向（高：自分のことを建前的に回答／低：悲観的に回答）	25 → 25点	普通
Ti	本音を隠した傾向（高：自分を良く見せようと回答／低：自分の欠点を認めすぎた回答）	9 → 9点	不良
Neg	防衛・否定的な傾向（高：自分の悪いところを認めずに回答／低：悪いところを大げさに回答）	22 → 22点	普通
E	外向性（高：元気が良く積極的／低：おとなしく無口）	69 → 80点	優秀
Ins	無遠慮・横柄さ（高：対人関係がかなり外向的／低：対人関係に内気で消極的）	16 → 34点	普通
Wit	引きこもり度（高：社会的接触を好む／低：社会的接触を好まない）	32 → 36点	普通
Soc	社会的不適応度（高：社会的である／低：社交性がない）	37 → 37点	普通
Bs	打たれ強さ（高：打たれ強く他人に鈍感／低：打たれ弱く他人に気を遣う）	10 → 29点	普通
Ov	自信過剰（高：自信過剰／低：自信がない）	39 → 58点	普通
A	協調性（高：温かく親切／低：疑い深く利己的）	45 → 61点	普通
Ef	八方美人（高：過度に敵意のなさを強調する／低：敵意を隠さない）	32 → 53点	普通
Sus	猜疑心（高：他人に鈍感で無関心／低：頑固で怒りっぽい）	92 → 87点	優秀
Pla	性格のひねくれ具合（高：素直で融通が利く／低：不安や敵意を表に出さず固い印象）	96 → 87点	優秀
Sel	利己的（高：他人に肯定的で協調性がある／低：他人に否定的で誠意がない）	24 → 33点	普通
AS	反社会的行動（高：反社会的行動を起こしにくい／低：反社会的行動を起こしやすい）	98 → 97点	特秀
Sm	社会規範を尊重（高：社会的規範を尊重する／低：社会的規範を尊重しない）	37 → 49点	普通
C	勤勉性（高：責任感があり仕事熱心／低：根気がなく無責任）	68 → 87点	優秀
Cal	冷静さ（高：冷静な判断が出来る／低：判断が感情的）	11 → 27点	普通
Pr	偏見（高：人の考えに寛容で心が広い／低：偏見が強く心が狭い）	44 → 52点	普通
Ic	劣等感（高：劣等感が弱い／低：劣等感が強い）	98 → 99点	特秀
Gc	良識性（高：良識がある／低：良識性が低い）	64 → 62点	普通
Res	責任感・義務感（高：責任感があり信頼できる／低：責任感がなく信頼できない）	77 → 91点	優秀
N	情緒安定性（高：心が安定し気楽／低：悩みやすく神経質）	66 → 83点	優秀
Emu	競争心（高：のんきで受動的／低：攻撃的で競争心が強い）	71 → 81点	優秀
Ai	攻撃衝動（高：攻撃衝動が抑えられる／低：攻撃衝動が抑えられない）	48 → 62点	普通
Tol	寛大さ、心の広さ（高：他人に寛大／低：他人に不信任を持つ）	43 → 60点	普通
Nt	神経質（高：情緒が安定している／低：不安や緊張が高い）	98 → 98点	特秀
O	知的好奇心（高：知識の範囲が広く創造的／低：好奇心に乏しく考えるのが苦手）	99 → 100点	特秀
Dep	依存心（高：独立的である／低：依存心が強い）	62 → 64点	普通
Is	リーダーシップ（高：確信が強く障害を克服／低：自己主張せず、他人に責任をとってもらう）	29 → 26点	普通
Sab	自己否定（高：自信があり自己主張できる／低：自信がなく他人の影響を受けやすい）	92 → 93点	優秀
Edu	教育能力（高：自分の知識を人に教えるのが得意／低：人に教えるのが苦手）	80 → 93点	優秀
Log	論理的思考（高：物事を論理的現実的に考える／低：頭が固く皮肉的）	71 → 78点	良好
Pes	悲観的（高：楽観的／低：悲観的）	68 → 60点	普通
Jit	不安感（高：不安や心配を容認し自信がある／低：罪悪感が強く将来に不安を持つ）	85 → 87点	優秀
Fe	恐怖心（高：落ち着いて不安感はあまり無い／低：落ち着きがなく常に不安）	23 → 26点	普通
Su	極度なストレス（高：強いストレスを受けていない／低：強いストレスを受けている）	43 → 49点	普通
Anx	心労の度合（高：精神的に疲れていない／低：精神的に疲れている）	41 → 45点	普通
Ph	心の問題（高：心の問題を抱えていない／低：心の問題を抱えている）	58 → 64点	普通
Pro	問題対処能力（高：問題対処能力がある／低：問題対処能力が低い）	95 → 97点	特秀
Sen	感受性（高：ストレス状況で不安や緊張に捕らわれにくい／低：感受性が高くストレスに弱い）	48 → 50点	普通
Sst	ストレスの受け止め方（高：ストレスから逃げない／低：ストレスから逃げようとする）	62 → 70点	良好
N	正常性（高：精神的に重大な問題を抱えていない／低：問題を抱えている）	78 → 81点	優秀
V	テストの信頼性（高：建前的に回答し高得点化／低：悲観的に回答し低得点化）	17 → 50点	普通
TE	交流力（高：人間関係を築くのが上手／低：人間関係を築くのが下手）	34 → 57点	普通
TA	調和力（高：他人に友好的／低：他人に無関心）	46 → 70点	良好
TC	社会適応力（高：まじめで社会性がある／低：不真面目で社会性がない）	54 → 81点	優秀
TN	精神力（高：精神が安定している／低：精神が不安定である）	65 → 87点	優秀
TO	創造力（高：知的活動を好む／低：知的活動を好まない）	87 → 95点	特秀
Str	ストレス状況（高：ストレスを感じている／低：あまりストレスを感じていない）	53 → 56点	普通
StrT	ストレス耐性（高：ストレスに強い／低：ストレスに弱い）	43 → 73点	良好

▶ 評価には、それぞれ得点に応じ「不良（1～5点）」、「不安（6～14点）」、「普通（15～67点）」、「良好（68～79点）」、「優秀（80～95点）」、「過多 or 特秀（96～100点）」という6段階評価を表示しています。「不良」や「過多」と表示されている部分は注意が必要な部分です。『尺度解説』を参考に、個人の分析に役立ててください。

プロフィール（診断結果を分析し、性格的な特徴を把握します）

- ▶ 結果の信頼性 「 B 」 （結果の信頼性をS、A～Dの5段階で評価しています）

この検査はやや不自然なところがあります。建前的に自分を良く見せようと、あるいは逆に自分を悲観的に考えて回答した可能性があります。従って、以下の性格分析の結果の信頼性はやや低いでしょう。

中心的な性格特徴（5つの主要な性格特徴から個人のタイプ判断します）

- O+ 「 好奇心の強い人 」

知性が高い「好奇心の強い人」です。好奇心の強い人の性格傾向は、議論の場で、我が強く、独創的で、自分の考えに自信を持っています。自分の能力に自信があり、他人に頼ることはあまり考えません。また、自分の知識や経験を人に伝えることが上手で、指導力があります。思考方法は現実的で、柔軟性があり、物事を論理的に考えることを好みます。好奇心が強く、新しいアイデアを次々に出しますが、行動力がともなわない場合は頭でっちな印象を与えます。

性格的長所（性格的な長所をピックアップしています）

- Play（性格のひねくれ具合）：融通が利く AS（反社会的行動）：社会性がある Ic（劣等感）：責任感がある Nt（神経質）：不安や緊張を感じにくい O（知的好奇心）：考えることを好む Sab（自己否定）：独立的で他人に頼らない Edu（教育能力）：指導力がある Jit（不安感）：気楽 Pro（問題対処能力）：問題対処能力に優れている

SAMPLE

性格的短所（性格的な短所をピックアップしています）

- Bs（打たれ強さ）：打たれ弱い Cal（冷静さ）：感情的に物事を判断する

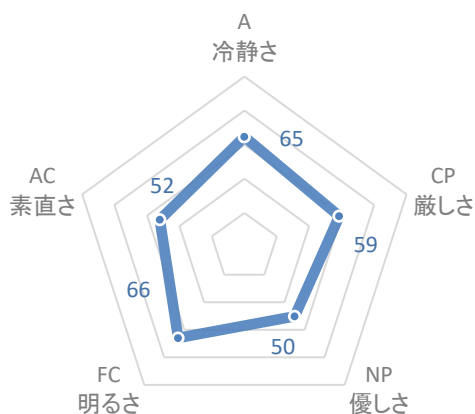
性格的注意点（性格的に個性が強すぎる部分をピックアップしています）

- 特記事項なし

現在の心の状態（診断結果から今の心の状態を把握します）

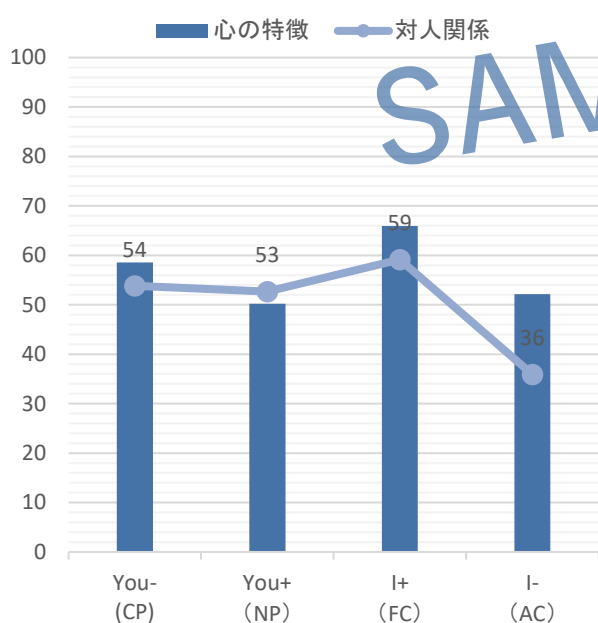
- ▶ 本シートの結果は、性格の良い部分や悪い部分を見つけるものではありません。自分の心の状態を「**心の特徴**」、「**対人関係と自己認知の歪み**」、「**心のバランス**」という3つの視点から分析することで、自己の理解を深めていきます。下記のグラフを参考に自分の心の状態を良く把握し、自分らしく生活するためのヒントとして役立ててください。

心の特徴（あなたの現在の精神状態）



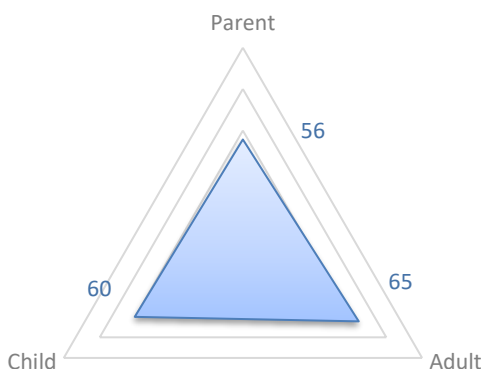
- **CP (Critical Parent) 厳格な親**：高いほど信念があり責任感が強い、低いと融通が利きおろかな印象。
- **NP (Nurturing Parent) 寛容な親**：高いほど温かく、世話好き、低いとクールな印象。
- **A (Adult) 成人**：高いほど冷静で論理的、低いと損得にこだわらない印象。
- **FC (Free Child) 自由な子供**：高いと好奇心旺盛で活発、低いとおだやかな印象。
- **AC (Adapted Child) 従順的な子供**：高いほど協調的で慎重、低いと裏表のない印象。

対人構造と認知の歪み（自分と他人に対する態度）



- 折れ線グラフはあなたの対人構造を示しています。対人構造は心の特徴と一致する部分があり、それを棒グラフに示しています。両方を比較することであなたの自己認知の歪みが分かります。
- **I+ (自己の肯定)**：高い場合は自分を押しやけることなく自由な状態にあります。**FC (明るさ)**との間にズレが生じている場合は自己主張・利己的な感情に無理が生じています。
- **I- (自己の否定)**：高いほど自分にあまり自信がない状態にあります。**AC (素直さ)**との間にズレが生じている場合は自分に対する孤立感や劣等感に無理が生じています。
- **You+ (他者の肯定) 勤勉性**：高いと他人に親切で思いやりがある状態にあります。**NP (優しさ)**とズレが生じている場合は他人への協調性や共存の意識に無理が生じています。
- **You- (他者の否定)**：高いと他者理解に欠けている状態にあります。**CP (厳しさ)**との間にズレが生じている場合は他人への独善的・排他的な感情に無理が生じています。

心のバランス（日常生活における考え方）



- **P (Parent) 親**、**A (Adult) 成人**、**C (Child) 子供**のバランスを見ることで現在のあなたの心理状況が分かります。
- **P**、**A**、**C**がバランス良くある人は心がうまく調和しています。
- **P**の比率が高い人はこれまでの経験で身につけてきた価値感など、過去の経験が強く働いている状態です。
- **A**の比率が高い人は事実に基づいて物事を理解しようとする現実的思考が強く働いている状態です。
- **C**の比率が高い人は過去の経験に影響されないその人の本来的な部分が強く働いている状態です。